

オクリイッ

No. 10
2015年2月19日発行

◆編集発行◆
菊川市消防本部

〒439-0022
菊川市東横地385
TEL (0537) 35-0119



菊川市マスコットキャラクターの「きくのん」も普通救命講習会に参加しました。



8月2日に菊川市消防本部で「夏休みわくわく消防体験プログラム」が開催されました。当日は気温30℃を越える暑さのなか、親子連れら約130名が参加してくれました。



平成26年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練。菊川消防隊は津波被害に遭った車両からの救出訓練と警戒にあたりました。

2014年度 全国統一防火標語

もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

救命の連鎖

●救命のポイント

救急車の出動件数は菊川市でも年々増加しています。私たちは、いつどこで怪我をしたり、病気になるってしまうかもしれません。そんな時、傷病者の命を救い、社会復帰に導くため、『あなた』にもできることがあります。

一つ目に「心停止の予防」です。突然死の原因に子供には、けが、溺水、窒息などが多く見られ、また成人には急性心筋梗塞や脳卒中が多く見られます。日常生活の中で十分注意し、生活習慣の改善で発症リスクを下げることや発症の初期症状を見逃さずに救急車を要請することが心停止の予防につながります。

二つ目は「心停止の早期認識と通報」です。意識のない人を見たら直ちに心停止を疑うことが大切です。素早い認識が素早い119番通報へとつながります。

三つ目は「二次救命処置」です。現場に居合わせた人『あなた』が、心肺蘇生法とAEDを使って止まっていた心臓と呼吸の動きを助ける方法です。

四つ目に「二次救命処置と心拍再開後の集中治療」です。救急隊や医師により、薬や医療器具を使用して心臓の動きを取り戻すことを目指し、専門家による集中治療によって社会復帰を目指します。

これら四つをあわせて、『救命の連鎖』と言い、『四つの輪』で表されます。

「心停止の予防」「心停止の早期認識と通報」「二次救命処置」「二次救命処置と心拍再開後の集中治療」の四つの輪が途切れることなく、つながることで救命効果が高まります。

救命の連鎖の最初の三つの輪は、現場に居合わせた『あなた』により行われることが期待されます。消防署では、はじめの三つの輪について学ぶ普通救命講習会を開催しています。もしものとき、「だからか」ではなく『あなた』が大切な命を救うことができるよう、多くのみなさまの受講を待ちしています。



心停止の予防 早期認識と通報 一次救命処置 二次救命処置

普通救命講習会

心臓突然死は誰にでも起こります。その時近くに心肺蘇生法を周知している人がいて、AEDがあればこの人を助ける事ができるかもしれません。

心肺蘇生法やAEDの操作は難しいものではありません。応急手当は勇気を出せば誰でもできます。

消防署では普通救命講習会（国で決められた3時間のカリキュラム）を行っております。心肺蘇生法を学び、いざという時のために備えましょう。



普通救命講習会案内

開催日：毎月第3土曜日 9:00～12:00

場所：消防署2階（救急指導室）

受講人数：概ね15名程度

（1人からでも申込み可能です）

申込み：開催前日まで消防署救急係

（☎35-3283）で受付しています。

受講者に修了証を発行します。

※受講料は無料です。

●詳細は、菊川市ホームページ・facebook、回覧でのチラシをご覧ください。消防署救急係（☎35-3283）まで、お問い合わせください。

●受講者6名以上集まる事業所では、随時講習会を開催できます。時間は平日 9:00～12:00です。ご相談・お問い合わせください。

応急手当協力的事業所

9月9日（救急の日）に応急手当協力事業所認定式を行いました。消防署では、救命効果の向上を目的とし、一定数以上の従業員が普通救命講習を修了した事業所で、事故などが発生した場合に119番通報や応急手当などに協力していただける事業所を「応急手当協力事業所」として認定して、応急手当普及啓発に努めています。

【認定基準】

・AEDが設置され、かつ従業員のうち10名以上、または2割以上が普通救命講習を受講している事業所。

平成26年度の認定事業所

- 旭テック株式会社本社・横地事業所
- 遠州夢咲農業協同組合本店
- 株式会社エコノス・ジャパン
- 菊川シール工業株式会社
- 菊川文化会館アエル
- 小規模多機能型居宅介護施設 ひまわり

（順不同）



救急業務協力者 感謝状贈呈式

心肺停止状態の傷病者に迅速な救命処置を行っていただいた協力者に消防本部から感謝状を贈呈しました。

救命処置を行っていただいた協力者は、青嶋孝奈さん、山下由紀子さん、稲葉一典さん、土屋隆夫さんの4人のみなさんで、平成26年10月26日、市内のスーパー駐車場で心肺停止状態に陥った男性に対して、のどに詰まった異物を取り除くとともに、心肺蘇生法の実施、119番通報、救急車の誘導など、「救命の連鎖」を遂げられることなく行っていたことにより、尊い命を救うことができました。

贈呈式には、

山下さん、稲葉さん、土屋さんの3人が出席、消防長から感謝状を贈呈しました。



ご存知ですか？

119番通報の内容により救急車と同時に消防車が緊急出動することがあります。これは傷病者が心肺停止のときや、高層建物内で救急隊だけでは搬送が困難なとき、ドクターヘリや消防防災ヘリの活動を支援するときなどに出動します。これを『救急支援出動』といい、救急隊の活動を支援することで病院に傷病者を迅速に搬送し、救命率の向上を図ることを目的としています。

火災以外でも消防車がサイレンを鳴らして緊急走行をすることがありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



119番通報時のお願い

救急車を呼ぶときには、傷病者の状態（意識・呼吸）、掛かり付けの病院（既往歴）があるかなどの情報を通信員が聞きます。緊急性が高い場合は、すべてお聞きする前でも救急車は出動しますので、慌てずに教えてください。ご協力をお願いします。

救急車適正利用

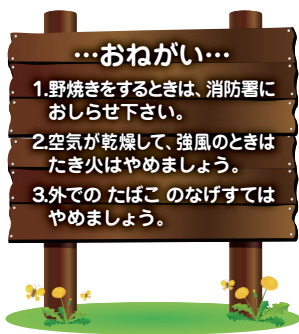


このような使い方していませんか？

- 突き指、打撲、切り傷などの緊急性の低い状態で救急車を呼んでいませんか？
- タクシー代わりに救急車を利用していませんか？
- 夜間や休日に診てもらえる病院がわからないという理由で呼んでいませんか？

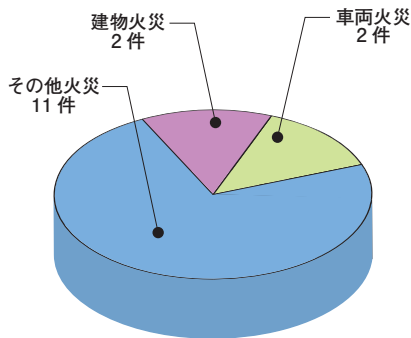
救急車の正しい利用のご理解ご協力で救える命があります。119番の前に、救急車が必要な緊急事態かどうか考えてみてください。

平成26年中の災害件数



主な火災原因としては、たき火・草焼きが6件、たばこが2件となっており、損害額は40,235千円で前年よりも9,494千円増えています。

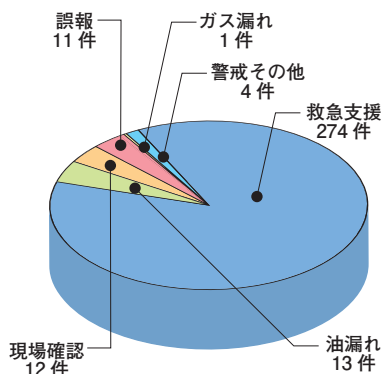
火災種別件数



火災は前年と比べ7件減少し15件発生しています。建物火災が6件減り2件、車両火災2件、その他火災が11件でした。死者及び負傷者が発生する火災はありませんでした。

火災件数

消防出動件数



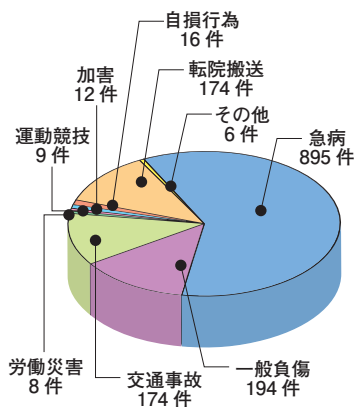
火災以外の消防車の出動件数は315件ありました。内訳としては、救急支援が274件と9割近くを占め、そのほか油漏れ13件、現場確認12件、誤報11件、ガス漏れ1件、警戒その他が4件でした。

消防出動件数

救助件数

救助出動件数は21件で、要救助者13人を救助しました。内訳としては、交通事故が16件、機械の事故1件、その他の事故が4件でした。前年と比較すると、件数では3件増え、要救助者数は4人の増となりました。

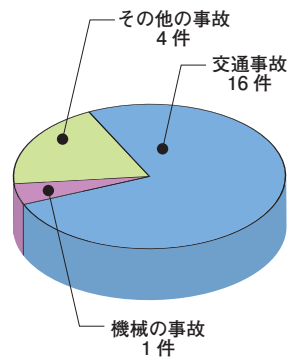
救急出動件数



救急出動件数は1,488件でした。内訳としては、急病895件、一般負傷194件、交通事故174件、労働災害8件、運動競技9件、加害12件、自損行為16件、転院搬送174件、その他6件で、前年と比較すると出動件数は85件増えています。搬送人員は1,436人で、前年よりも56人の増となりました。

救急件数

事故種別件数



菊川市消防本部テレホンサービス

消防署には火災発生時デジタル音声で火災種別と発生場所（大字）を広報する災害情報ダイヤルがあります。

（市外局番） み な さんの いち いち きゅう

☎ 0537-37-3119

（提供情報）

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 番：病院情報 | 休日、夜間の診療科目情報 |
| 2 番：災害情報 | 菊川市内で発生している火災情報 |
| 3 番：消防情報 | 火災予防等啓発情報 |

火災速報メールを配信しています

（メール配信は登録が必要です。）

- ① es-kikugawacity@smtp3.fastalarm.jp 上記メールアドレスへ空メールを送信。
- ② 空メール送信後、すぐに返信されてくるメール本文内のURLに進んで画面の指示に従い、登録を完了。

※ メール受信制限設定をしている人は、メール受信制限設定で「以下のメールアドレス」および「URL 付きメール」の受信許可をして下さい。
chutoen-shirei@smtp3.fastalarm.jp

平成26年度 消防団査閲大会



平成26年7月6日に、菊川市消防団査閲大会が菊川文化会館アエル駐車場で行われました。この大会は、消防操法や訓練札式に対する日ごろの訓練の成果を競い合う場であり、毎年開催しています。



団員達は、この大会に向けて早朝や夜間の訓練に励み、その成果を披露しました。団員のキビキビとした行動に見学者からは、拍手や歓声が湧き上がりました。また、当日は女性消防団員による心肺蘇生法の実技講習も併せて行われました。

菊川市水防訓練

台風シーズンを前に水害に備え水防体制を強化するため、平成26年6月14日に菊川文化会館アエル前の菊川河川敷で自治会や関係機関とともに全消防団員が参加しての水防訓練を行いました。

参加者は、消防職員の指導で、ロープ結索訓練や土のう作成訓練、木流し工法訓練、月の輪工法訓練を実施しました。



土のう作成訓練

結索訓練

地域防災の要・菊川市消防団

出初式



平成27年1月4日、市民総合体育館で菊川市消防団出初式を行いました。消防職員と消防団員の士気高揚と職務遂行への決意を新たにしました。市長からは、地域の安心・安全を守るため、日夜献身的に防災活動に取り組む消防団員に敬意と感謝の言葉が述べられました。

式典には消防職員、消防団員及び、関係者合わせて約400人が出席し、静岡県消防協会小笠支部長表彰や菊川市消防団長表彰などの各表彰が行われ、式典終了後には消防団車両16台が、それぞれ管轄する地域に向かい、無火災・無災害のPR広報を行いました。

消防団・消防署合同訓練

消防署と消防団は火災現場で、的確かつ迅速な消火活動をするために合同訓練を実施しています。平成26年10月から延べ3ヶ月の間に菊川市消防団全分団が順次訓練に参加して消防ポンプ車、資機材の取扱いや構造など基礎知識の教育訓練をはじめ、消防活動時の安全管理、建物火災の延焼拡大を防ぐ「火災防ぎょ訓練」を実施して、更なる技術の向上を図りました。

今後も消防署と消防団の連携を強化して、円滑な消火活動を行い市民の安心・安全を守ります。



訓練紹介

平成26年度 緊急消防援助隊
関東ブロック合同訓練

静岡県

は、南海
トラフ巨

大地震な
ど大規模
な地震災

害が発生

した場合、

地震動や

津波によ

る甚大な

被害が予

想されて



いるなかで、平成26年11月5日～6日の2日間にわたり1都9県から集まった消防、警察、ドクター、自衛隊など併せて1,200人以上が浜松市の訓練施設に集結し大地震を想定した訓練が実施されました。

菊川消防隊は、高さ4～5メートルの土砂の中に埋もれた建物や車両からの救出や津波の警戒及び行方不明者の捜索など、広範囲災害対応訓練を他の消防部隊と連携して行いました。

菊川警察署合同救助訓練

平成26年8月27日に菊川警察署職員との合同訓練を実施しました。

大規模地震発生を想定し、土砂やがれきで車内に閉じ込められた被災者を、警察・消防が協力しての救出や資機材の取扱い訓練を行いました。

また警察、消防間における情報交換や情報の共有方法を再確認しました。



救助訓練

救助隊では救助技術の向上を目指すし、毎月定期的に訓練を行っています。

訓練の内容は、高所に張られたロープを渡る訓練や、低所にいる要救助者を高所の安全な場所へ救出する訓練など多岐にわたります。

年々、自動車もハイブリットや電気自動車などに形態が変わりつつあるなかで、車の特徴や構造を理解するため、実際に廃車車両を使って、車の中に閉じ込められている要救助者を救出する訓練や、多数の傷病者を一時的に収容し、救護所として使用するエアートент設営訓練なども行っています。



平成26年度
菊川市消防本部総合防災訓練

平成26年8月31日に市内全域で、突発型の大規模地震総合防災訓練が行われました。

消防本部では、組織全体で大規模地震に対応するため「災害対策本部との連携」、「災害対応力の強化」を重点項目に掲げ、訓練に取り組みました。



花火教室

幼少期に花火の遊び方を指導することで火災の危険性を理解してもらい、子供の火遊びによる怪我や火災などを起こさないよう、毎年6月～7月の本格的な花火シーズンを前に、保育園・幼稚園児を対象に花火教室を行っています。

園児たちは職員から花火の使い方、注意事項をパネルとDVDで説明してもらったあと、女性消防団員と一緒に花火の安全な遊び方を学びました。

花火教室終了後には、消防車両の見学や記念撮影を行い、満面な笑顔で安全に花火をすることを約束してくれました。



防火教室

11月～12月にかけて市内の保育園、幼稚園に出向き防火教室を実施しました。防火教室では、火遊びはしない・火事を見つけたらどうするか・もしものときの自分の身を守る方法などを学び、園児達は、「自分の洋服に火が着いてしまったときは、火が顔の近くに来ないように伏せて転がりながら火を消す」「家の中で火事ときは、硬いもので床を叩いて居場所を知らせる」「煙が充滿したときは、低い姿勢で煙を吸わないように逃げる」など、消防職員の実技を見ながら、どの指導にも元氣よく一生懸命に取り組み、火災の恐ろしさを感じ取ってくれたようでした。

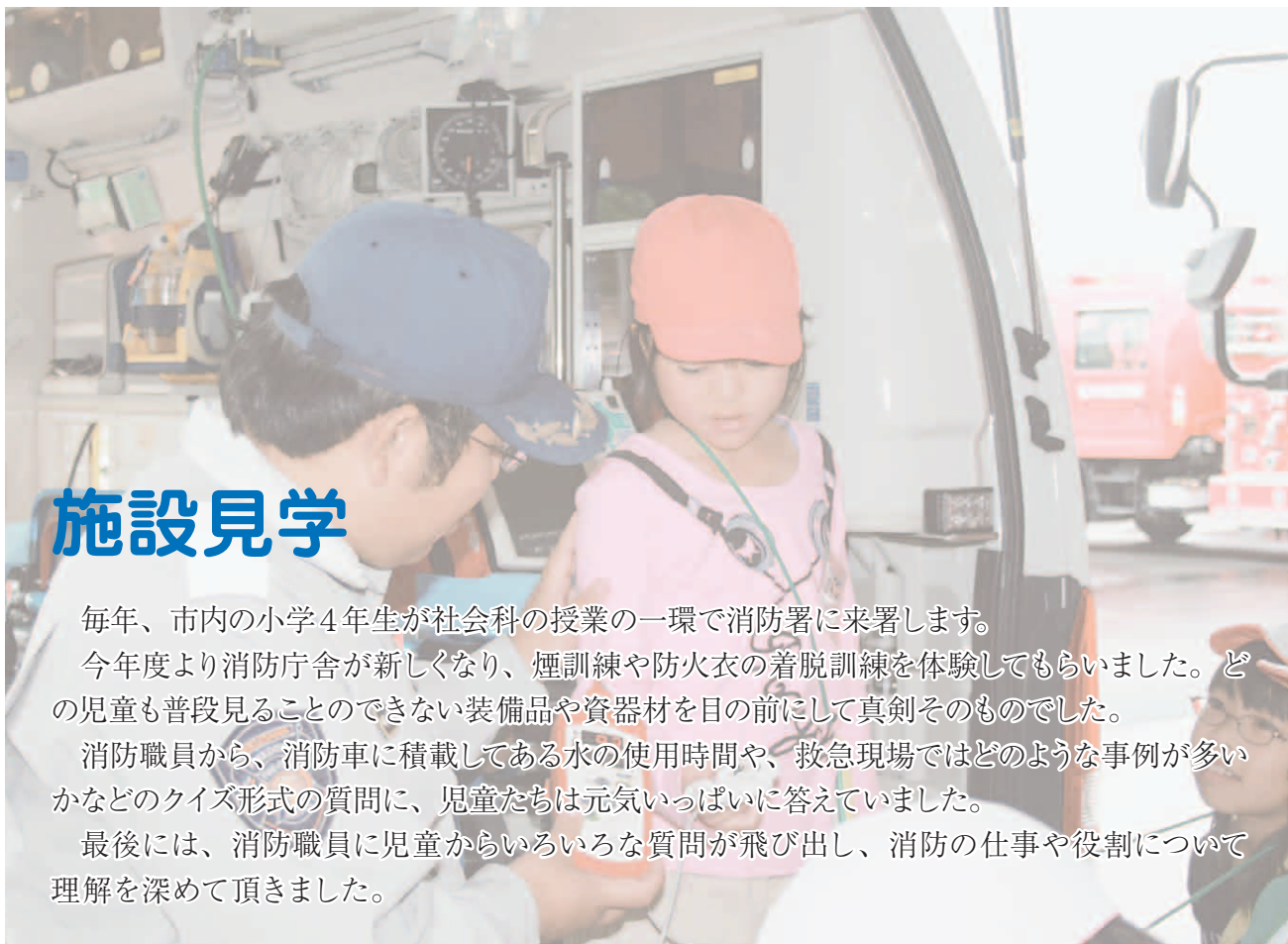


施設見学

毎年、市内の小学4年生が社会科の授業の一環で消防署に来署します。今年度より消防庁舎が新しくなり、煙訓練や防火衣の着脱訓練を体験してもらいました。どの児童も普段見ることのできない装備品や資器材を目の前にして真剣そのものでした。

消防職員から、消防車に積載してある水の使用時間や、救急現場ではどのような事例が多いかなどのクイズ形式の質問に、児童たちは元気いっぱいに答えていました。

最後には、消防職員に児童からいろいろな質問が飛び出し、消防の仕事や役割について理解を深めて頂きました。



めざせ火災0!!

火災予防の取組み

春季火災予防運動 実施します!!

平成27年3月1日～7日まで、全国一斉に『春の火災予防運動』が実施されます。期間中は消防車で市内を巡回し広報活動を行います。また、JR菊川駅前では街頭広報を予定しています。

春先はまだまだ火災の多い季節です。火の取り扱いには十分注意し、菊川市内の火災ゼロを目指しましょう。

付けましたか? 住宅用火災警報器

本年度、市内1,090件の住宅を戸別訪問し、住宅用火災警報器の設置状況の調査をしたところ、約31%のお宅が未設置の状態です。中には「買ってあるけど付けていない。」というお宅もありました。住宅用火災警報器の設置は、条例で定められています。設置されていないお宅は早急に設置をお願いします。

住宅用火災警報器は電気店、

ホームセンターなどで購入でき、ドライバー1本で簡単に取り付けすることが出来ます。

また、住宅用火災警報器は、取り付け位置が決められています。ご不明な点は、消防本部にお問い合わせください。

幼年消防 クラブ発足!!



市内で初めての幼年消防クラブが発足しました。今年度は、菊川市立おおぞら幼稚園、中央幼稚園、ひかり保育園の年長園児が加入し、各園で足式を行いました。式では、園児が火の用心の誓いを宣言した後、消防車からの放水を体験し、一人前の消防士のようなでした。

秋季火災予防運動では、おおぞら幼稚園の園児が市内の商業施設

で、火災予防啓発グッズを配布しながら、来店者に火災予防を呼びかけました。

幼年消防クラブでは、日頃の生活に欠かすことのできない火の取り扱いについて、楽しさの中から、火遊びの怖さを学び、園児たちの活動をとおして、市民に火災予防を呼びかけます。

来年度以降も随時市内の幼稚園、保育園で発足する予定です。

平成26年度 防火ポスター コンクール結果!!

市内全小学校の6年生を対象とした防火ポスターコンクールにおいて、応募作品356点から9点が優秀作品に選ばれました。受賞者の皆さんは、菊川文化会館アエルで行われた市制10周年イベント「安全・安心フェアinきくがわ2014」において表彰されました。どの作品も、防火を強く訴える、すばらしい作品でした。

受賞者には、市長賞・熊谷安裕菜さん（小笠北）、教育長賞・赤堀夢月さん（横地）、消防長賞・青島良磨さん（加茂）、金賞・北山弥幸さん（六郷）、銀賞・赤堀

未依さん（小笠東）、銀賞・松井佳穂さん（堀之内）、銅賞・浅井隆さん（内田）、大橋青宙さん（小笠南）、雲母八千穂さん（河城）が選ばれました。

◎市長賞 熊谷安裕菜さん



◎教育長賞 赤堀夢月さん



◎消防長賞 青島良磨さん

